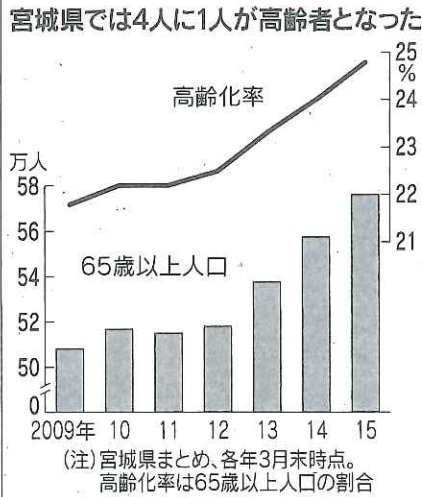


老人ホーム 仙台に続々

仙台市内で大型の有料老人ホームの開業が相次ぐ。松田病院(仙台市)系列の松田会(同)は来春、泉区で200室超の高級老人ホームを開業する。不動産会社の久保田本店(同)は有料老人ホーム事業に参入し、120室の施設を来夏完成させる。宮城県内では全国と同様に高齢化が進んでおり、各社は需要が見込めると判断した。



松田会 高級型200室 久保田本店 120室で参入

近隣に病院、安心感



松田会は来春、仙台市泉区に富裕層向けの有料老人ホーム「エバークリーニング高森」(219室)を開業する。16階建てで、総事業費は約60億円。費用は入居時に払う一時金が2800万円、7730万円、利用料金は月額12万8千円(税別)。このほか食費などが別途かかる。

同施設の特徴は高級ホテル並みの設備だ。施設内にはレストランやカフェバー、フィットネスクラブやシアタールームを設ける。仙台市街などに向かうシャトルバスも運行する。

系列の松田病院が付近にあることも強みだ。入居者は体調に異変があれば、24時間いつでも診察を受けられる。

同社が付近で運営する「エバークリーニング寺岡」では入居者の4分の3が仙台市内、残りの4分の1は宮城県外からだ。企業経営者や医師が多いという。「エバークリーニング高森」はすでに50室以上が契約済みとなった。

松田会の上田勉副社長

来春に完成する松田会の有料老人ホーム「エバークリーニング高森」(イメージ)

は「身近に介護で苦労した経験があるなど、老後の生活に対するアンテナが高い人が多い」と話す。

不動産会社の久保田本店は有料老人ホーム事業に参入する。仙台市宮城野区のJ.R.若竹駅前、有料老人ホーム「ネクサスコート若竹」(120室)を来夏完成させる。8階建てで事業費は約23億円。同社が土地・建物を所有し、有料老人ホーム運営のランドネクサス(横浜市)が運営する。

1階に内科や歯科、調剤薬局が入り、2・3階が老人ホームとなる。介護職員や看護師が24時間常駐する。入居時に払う一時金は500万円程度を想定する。このほか月々の利用料金がかかる。久保田本店の久保田定社長は「寝たきりになった場合、家庭で介護するのは困難。仙台でもニーズ

高齢化・「老老介護」背景に

特養は入居待ち多数

仙台市内で有料老人ホームの開業が相次ぐのは、全国と同様に進む高齢化が背景にある。高齢者向け福祉施設には、介護が必要になってから入所する特別養護老人ホーム(特養)などもある。ただ特養は民間事業者に比べて一般的に料金が安

く希望者が多く、入居待ちが多数いる。施設に入居できない期間は家族が介護をする必要があるが、仕事をしながら介護をする負担は重い。子供が仕事で遠方に親と離れて住み、高齢化した親の面倒をみるのが難しい場合もある。少子

化に伴って今後は介護される親と介護する側がともに高齢者となる「老老介護」も増えてくる。有料老人ホームは特養などに比べ割高なケースも多いが「病気などの後遺症で介護が必要になる前に、安心できる施設に入っておきたい」という

ニーズは高まっていると、今後も今後さらに増えるという。施設のバリエーションも可能性が大きい。